

競技注意事項および大会規定

1. 本大会は、2020年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。
2. 各競技の招集は、トラック競技は競技開始時刻10分前、フィールド競技は10分前までに競技場所で行う。
3. ナンバーカードは、胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する者は片面だけでもよい。800m・1500m・3000mの競技出場者は、出発係から渡された腰ナンバーカードを右腰につける。競技終了後、競技者係に返却すること。(ナンバーカードのない選手は出場できない)
4. 走路順・試技順はプログラム記載順とする。
5. トラック競技はすべてタイムレース決勝とする。
ただし、3年100mと4×100mRのみ予選決勝とし、上位8名(チーム)が決勝に進出できる。
同タイム多数でレーン不足の場合は、抽選とする。
6. 走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。
・走高跳・・・男子1m30、女子1m20より開始し、5cmずつ上げる。
7. 走幅跳はバックスタンド側のA、B2つのピットを使用する。また、バックスタンド側をAピットとする。
8. 走幅跳・砲丸投は人数が多いため計測ラインを設ける。計測ラインは、当日のコンディション等により、審判長の判断で変更する場合がある。

男子	走幅跳	4m60	砲丸投	6m50
女子	走幅跳	3m70	砲丸投	7m00
9. リレーに出場する学校は、オーダー用紙に必要事項を記入し、予選は8時50分までに役員係へ、決勝は、12時30分までに情報処理室に顧問が提出すること。
10. 競技使用のスパイクシューズのピンは、全天候用とする。
11. 当日の選手変更は認めない。
12. 天候、その他の都合で競技開始時間に変更のある場合は、放送により連絡する。
13. 参加者の傷病については、応急処置以外は責任を負わない。
14. セパレートコースを使用する競技については、フィニッシュライン通過後も自分のコースを走ること。
15. ウォームアップについて
 - ・サブグラウンドは使用できない。メインの競技場内でアップすること。
 - ・トラックを使用する場合
 - 1・2レーン……………ジョッグ・長距離周回練習
 - ホームストレート3～7レーン……スタート練習
 - ホームストレート8～9レーン……………ハードル練習
 - バックストレート 3～5レーン………流し練習
 - 6～9レーン………リレー練習

- ・雨天時のみ、雨天練習場を開けることがある。ただし、事故防止のため、時間を限定し、競技役員が付いた上での開放とする。時間は放送で連絡する。
- ・集団でのアップはできない。

16. 競技場でのマナーについて

- ・競技場・スタンドなど施設を大切に使うこと。
本部管理棟にスパイクで移動することは禁止とする。
- ・応援及び付き添いの生徒は、競技場内には入らないこと。(スタンドで行う)
- ・弁当・空き缶等の片付けは、各校で責任を持って行うこと。
リレー競技に使用したテープについても同様です。
- ・各自、持ち物の管理には万全を期すこと。(貴重品、自転車の鍵等)
- ・レース後の選手は、ゴール付近からすみやかに移動すること。
- ・大会に参加する全ての人が気持ちよく過ごせるよう、競技中や観戦のマナーを守ること。

17. 得点について

1位:9点 2位:7点 3位:6点 …… 8位:1点 とする。

18. その他

- ・不正スタートをした競技者は1回目で失格となる(競技規則第162条8)。
スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告(イエローカード)を与えることがある。本協議会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格(レッドカード)とする。ただし、本協議会では累積しない。
- ・各種目で3位以内まで賞状を授与する。
- ・生徒役員は、最後まで各校に割り当てられた仕事を行うこと。
生徒役員の集合はありません。担当校で分担をすること。
- ・応援スタンドへの入場開始時刻は7:40の予定とする。
- ・自由広場の駐車場は、パスカードのある役員のみ駐車可能です。
選手招集やウォーミングアップなど各担当で工夫し、競技に支障のないようにしてください。
- ・保護者の方は、県総合グラウンドの所定の駐車場に車を駐車してください。駐車場の数に限りがございますので乗り合わせにご協力ください。
- ・選手が集中した状態でスタートができるように、「オンユアマークス」の声がかかったら静かにすること。
- ・本協議会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、傷害保険の加入範囲内及び現場での応急処置以外の責任は一切負わない。なお、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

